

みなさんこんにちは。飯沼中学校長の田村です。本日は、春日部工業高等学校の櫻井健一教頭先生、それから現在高校2年生として、日々、高校での生活をがんばっている、本校の2年生にとっては、大先輩である、卒業生のみなさんにお越しいただきました。みなさん、お忙しいところ、本校の2年生の生徒達のために、お越しいただきましたことに改めまして感謝申し上げます。本日は、誠にありがとうございます。

さて、2年生の生徒諸君は、この秋、各クラスで、グループで分担した様々な高等学校を、様々な方法で調べ、それらを模造紙にまとめ、発表したところですね。各クラスの廊下の掲示板には、模造紙にきれいにまとめられた高校の特徴が書かれたものが貼られていますね。よくがんばったと思います。

いま、みなさんは、中学校3年間の学校生活のちょうど半分の地点を折り返したところですね。後半は、勉強も難しくなり、部活動や委員会活動でも学校の中心となり、益々充実したものとなるでしょう。そういったことと同時に、中学校生活の後半は、卒業後の自分の歩むべき進路について考えていく期間となります。3年間の後ろ半分と言いましたが、それは卒業まであと1年半という意味であり、自分の卒業後の進路を考え、実際に具体的な動きを取るのは、ちょうど一年後です。いま3年生の先輩はまさに、4月からの自分の人生について、進学か就職か、進学ならば、どこの高等学校を受験するのか、就職ならば、どのような職業につくのかということを考え、具体的に調べたり、相手方に相談したり、自分の学力を試したりしているのです。

みなさんも何となくは分かっているとは思いますが、高等学校は、川辺小や中野小から飯沼中に進学したように、自動的に進学先が決まるわけではないのです。高校も就職する会社も、学力試験や面接試験などを行い、ふさわしい人物かどうかを調べるのです。それがいわゆる、高校受験とか就職試験というものなのです。

さて、そこでみなさんは、どのように進学する学校を選んだり、就職する職業や会社を選んだりすればよいのでしょうか。いくつかポイントを言いますと、1つは、アンテナを高く保ち、情報をたくさん収集することです。3つの高校から1つ選ぶのと、50校の高校から1つ選ぶのでは全然違いますね。たくさん情報からよく考えて一番良いと思われるものを1つ選べば、より自分に合ったものを選ぶことができるし、後から失敗だったという思いをする可能性も少ないわけです。埼玉県は人口の多い県であり、東京にも近い県です。県立高校も私立高校もたくさんあります。たくさん高校の中から一番自分に合った高校を選ぶようにしましょう。2つ目のポイントとして、自分の進む方向を決めるのは、将来の人生を考え、そこから逆算するという事です。分かりやすい話をしますと、例えば、家を建てるときには、設計図が必要ですよ。どのような家を建てたいか、部屋の数や広さはどうするのか、台所やトイレ、

風呂はどのようなものにするのかなど、色々と考えて、設計図を書かなければ家は建てられませんね。人生も同じです。将来、どのような人生を送りたいのか、どのような仕事で生きがいを感じたいのか、どのような仕事で社会貢献をしたいのか、という人生の設計図を書かなければなりません。人生の設計図が書ければ、そこから自分の生きる道を逆にたどればよいのです。将来は通訳の仕事に就きたい、消防士になりたい、保育士になりたい、調理師になりたいなど自分のやりたい職業が決まれば、そこから逆算していけば、中学卒業後はどのような学校に進学すればよいかが見えてきます。具体的な職業は、まだ決められないという人も、少なくとも方向性だけは決める必要があります。方向性くらいは決めなければならない人生の段階にさしかかっているということです。この一年間、大いに悩んでください。自分は何者なのか、自分の適性や長所は何なのかをとことん悩んでください。悩み、苦しむからこそ、人は賢くなり、成長し、人の心の痛みが分かるようになるのです。休み時間に、たわいのない話だけをするような時間の浪費にうつつを抜かしている日々は今日限りで終わりにしよう。

今日は、人生の先輩方から色々な話が聴けるでしょう。良き参考になることを願っています。どうぞよろしく願いいたします。

令和2年11月5日 春日部市立飯沼中学校長